

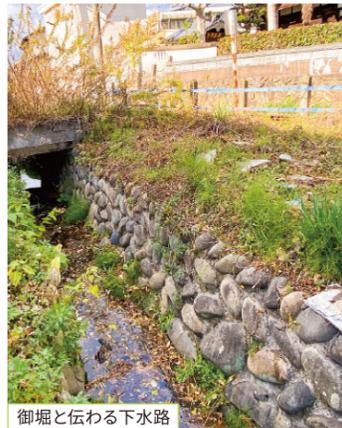
わ Re とりっふ trip

2022年度
第17回 羽島市編

竹ヶ鼻城と一夜堤跡



竹ヶ鼻城本丸跡の石柱は、羽島市歴史民俗資料館にあります。



御堀と伝わる下水道



史蹟「竹ヶ鼻一夜堤跡」

秀吉に水攻めされた竹ヶ鼻城 関ヶ原の戦いの前哨戦で城は消滅

戦国時代を語る上で外せない地・岐阜県。多くの城跡や武将の生きざまを感じられる史跡が数多く残されていることから、戦国観光には最適です。くしくも新型コロナウイルス感染症の影響で、「近場」「屋外」「ふらっと行ける」旅がちょうど良い昨今。この機会に、地元の魅力を、岐阜新聞女子ネットのメンバーらと「再発見」してみませんか。



豊臣秀吉が得意とした城攻めの戦術「水攻め」の城の周りに堤を築いて水を流し、城ごと沈めてしまおうというスケールな大きな戦法です。1582年に備中高松城(現在の岡山市)で行い、次のターゲットとなったのが徳仁年間(1467〜169年)に建てられたとされる竹ヶ鼻城(竹鼻城)で、1584年5月に実施されました。

当時の羽島市一帯は、尾張の国で、織田信長の嫡男・信雄の支配下にありました。信雄は徳川家康と近い関係にあり、1584年3月に起こった小牧・長久手の戦いでは、秀吉陣営と信雄・家康陣営が争いました。その流れから起こったのが竹ヶ鼻城の戦いで、秀吉は城下町を事前に見回って戦術を立てて自ら大工事を指揮。竹ヶ鼻城の北1kmにある現在の太閤山に本陣を築き、5〜6日間で長さ3km、高さ10m超、幅25m超の堤を造り、水を引き入れました。動員した人数は10万人と言われています。

当時の城主・不破源六広綱は1カ月ほど持ちこたえましたが援軍が来られなかったこともあってとうとう開城。伊勢長島の信雄の城へ退去しました。その後は一柳伊豆守直末ら秀吉の家臣や、信長の孫・秀信の配下の杉浦五左衛門重勝が城主を務めました。そして迎えた1600年8月22日(関ヶ原の戦いの1カ月ほど前)。秀吉が西軍に属していたことから東軍の福島正則らの猛攻撃に遭い、重勝は城に火を放って自害。以後、城は消滅しました。

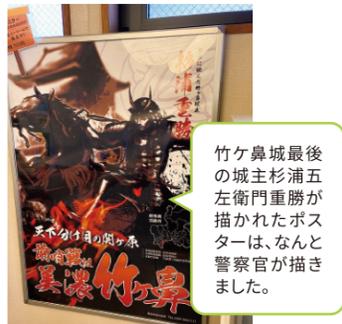
竹ヶ鼻城本丸跡を示す石柱は現在、市歴史民俗資料館の敷地内にありますし、近くには御堀と伝わる下水道がありますが、実は城石等が見つかっていないため、竹ヶ鼻城のあった場所には正確にはわかっていません。規模も不明で水攻めの際に籠城した兵の数は700人とも7000人とも言われています。

秀吉が築いた一夜堤についても一部は太平洋戦争後まで残っていましたが現在は跡形もなく、県道151号岐阜羽島線の竹鼻町今町の交差点近くに「史蹟竹ヶ鼻一夜堤跡」と書かれた支柱があるといった程度です。

歴史民俗資料館は映画や鉄道ファンにも◎

竹ヶ鼻城に関する展示コーナーのある市歴史民俗資料館には、映画資料館も併設。映写機やカメラ類約220点、新旧の映画ポスター類はなんと12万点を所蔵。随時入れ替えて展示しています。毎月第2土曜日には名作映画「竹ヶ鼻城」に関する展示コーナー

画の上映会があり、大人300円という入館料だけで懐かしい映画を楽しむことができます。市歴史民俗資料館の入口では3月30日まで名鉄羽島線開通40周年を記念した特別展示も開催中。新羽島駅の駅名板や実際に列車に取り付けられた系統板が飾られ、鉄道ファンから見ても激アツスポットとなっています。



竹ヶ鼻城最後の城主杉浦五左衛門重勝が描かれたポスターは、なんと警察官が描きました。



お城地蔵尊



市歴史民俗資料館から南に400mほど行ったところには佐吉大仏が。「美濃聖人」と称せられた永田佐吉翁によって1759年に建立されました。



ファッションショーで使われた衣装を試着。気分はモデル♪

スポーツバイクの旅はいかが

羽島市観光の新たな楽しみ方と言えは自転車旅。長良川と木曾川に挟まれて坂が少ない羽島市は自転車移動に最適で、サイクリングロードもいくつかあります。

岐阜羽島駅の近くの岐阜羽島ガーデンモール内に昨年4月にオープンした体験型サイクルステーション&カフェ・レストラン「BLOCK47」では、イタリアの「Bianchi」やスイスの「BMC」などの人気ブランドのスポーツバイクをレンタルすることができます。中には100万円超のものもあり、「購入前に乗ってみたい」という愛好家の心も掴んでいます。



BLOCK47
かっこいいスポーツバイクを借りて旅へGO!



野菜+おいしい+おしゃれ=無敵

「鶏ちゃん オーバーライス PLATE」
「飛騨牛100% 贅沢バーガー PLATE」

羽島市と愛知県一宮市を結ぶ木曾川の渡し舟に自転車ごと載せてみたり。変化に富んだ25kmを5時間ほどかけて楽しめます。そして自転車旅から戻ってきた後はレストランへ。東京・白金台の老舗レストラン・結婚式場の「八芳園」が監修した「飛騨牛100%贅沢バーガー」や鶏ちゃんにエスニックのテイストを加えた料理が楽しめます。プレートメニューには、地元野菜をふんだんに使った6種類のデリが



BLOCK47で、ただ自転車を貸すだけでなく、スタッフと一緒に羽島市近郊をスポーツバイクでめぐると、市内の魅力を満喫するには「中野の渡しコース」がおすすめて、竹鼻別院を見学したり吉川養鶏のステーキや羽島団子を食べたり、

美濃編は綿から全て手作り

羽島市は古くから繊維関連の産業が盛んなまちとして全国に知られています。江戸時代中期から後期にかけては木綿の織物「美濃編」が盛んに生産されました。明治以降の近代化に伴い、手紡ぎ手織りの美濃編の生産は途絶えてしまいましたが、この地域の宝を復活させようと、30年前に美濃編伝承会が発足、現在は羽島市を中心に岐阜、愛知両県の女性33人が昔ながらの製法にこだわった作品づくりに励んでいます。



織織りに挑戦。夢中になれる♪

と伝承会の会員は話します。そして糸ができた市内の工房で織織りし、思い思いの作品に仕上げられています。羽島市歴史民俗資料館に隣接する「ぐるっと羽島はしま観光交流センター」の2階は美濃編の紹介スペースになっており、土日祝日の午後1〜3時までは会員の指導で織織りを体験することができます。ポーチやバックなどは1階で購入できます。



ぐるっと羽島はしま観光交流センター



テキスタイルマテリアルセンター

本物の見本の数が12万点超!



テキスタイルマテリアルセンター

ファッションショーで使われた衣装を試着。気分はモデル♪

テキスタイルマテリアルセンター TEL.058-391-8511

布の見本12万点超がずらり

洋裁愛好家や服飾デザイナーに興味のある人にたまらないスポットと言えは全国のファッション素材や生地見本を一堂に集めて展示する資料館「テキスタイルマテリアルセンター」。羽島市と隣接する愛知県一宮市のあたりは「尾州」と呼ばれる毛織物の一大産地であること、繊維のまちとして栄えた歴史を持つこと、さらには首都圏からも関西からもアクセスがしやすいという利点を生かし、2008年にオープンしました。

過去に愛知県で開いた尾州産地の生地によるファッションショー「尾州コレクション」でモデルが着用した作品を着ることもでき、ファッションショー気分も味わえます。

販売コーナーもあり、人気はカシミアのマフラー。百貨店で売られているものと同じ高品質なアイテムを「カシミア100%」の値段で買えます。見本反を安価で販売するサービスもあります。土日



ファッションショーで使われた衣装を試着。気分はモデル♪